

2022年9月16日
日本生命保険相互会社

当社初のトランジション・ローンの実行について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、住友化学株式会社（社長：岩田圭一、以下「住友化学」）に対し、シンジケーション方式によるトランジション・ローン（以下「当融資」）を実行しました。当融資は、当社にとって初めてのトランジション・ローンとなります。

トランジション・ローンは、脱炭素社会の実現に向け、長期的な戦略にのっとり着実な温室効果ガス（以下「GHG」）排出量削減の取り組みを行う企業に対し、その取り組みを支援することを目的としたファイナンス手法です。

当融資は、経済産業省より委託を受けた外部機関である株式会社日本格付研究所および DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社から第三者評価を取得しており、金融庁・経済産業省・環境省により定められた「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」等との適合性について確認しています。

当融資による調達資金は、住友化学千葉工場（千葉県市原市）における LNG 火力発電施設の建設（以下「当事業」）に充当されます。石油コークスから LNG への段階的なエネルギー転換を促進することにより、年間で 24 万トン以上の GHG 排出量を削減する計画です。なお、当事業は、化学業界初となる経済産業省のクライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業に選定されています。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG 投融資を強化しており、当融資もその一つと位置付けています。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG 投融資に取り組んでまいります。

<案件概要>

企業名	住友化学株式会社
実行日	2022年9月16日
当社融資額	9.5億円
資金使途	LNG火力発電施設の建設

<今回の案件と関係の深いSDGs目標>

目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標9：産業と技術革新の基礎をつくろう

レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る



目標13：気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



以上

2022-1683G, 広報部